次回は中央学院大学初となる 3年連続シードを期待しています

学長　佐藤 英明（さとう ひであき）

駅伝部の皆さま、シード権獲得おめでとうございます。2日間、正直ヒヤヒヤしながら応援しておりました。79回大会から14年連続で箱根駅伝に出場している中、今回で7回目のシード権獲得です。つまり、半分はシード権を取り続けているということになります。ただ、「連続シード」は84回、85回大会の2年連続だけで、3年連続はまだありません。4年生は卒業されますが、1年生から3年生の皆さんは、中央学院大学初となる3年連続シード権獲得に向けてがんばっていただきたいと思います。

それから今回は「5位以内」を目標に掲げていると伺っておりましたが、そちらの方は残念ながら達成できませんでした。来年は目標を達成できるようにこれから励んでいただければと思います。近年の箱根駅伝はレベルが高く、シード権を獲得するのは簡単ではありません。今回素晴らしい結果を残せたことで、来年の箱根駅伝に向けて気持ちよくスタートを切れたことでしょう。駅伝部の皆さま、それから沿道で応援された皆さま、本当に2日間お疲れさまでした。

第27回 出雲全日本大学選抜駅伝競走

2015年10月12日（月・祝日） 6区間　45.1km

主将・濱滝が2区で区間新記録！

今季は主将・濱滝大記（4年）がトラックシーズンから絶好調だった。5月の関東インカレ2部で長距離2冠を達成すると、6月の日本選手権3000m障害で初優勝。夏に故障があったものの、学生三大駅伝の初戦となる出雲駅伝に滑り込んだ。2区に起用された濱滝は13位から4人を抜き去り、区間新記録（15分51秒）を叩き出す。2年前の岡本雄大（4区／現・JFEスチール）に続き、本学が2つ目の区間記録を保持することになった。エースが流れをつくると、3区塩谷桂大（4年）で8位に浮上して、最後はアンカー山本拓巳（4年）が7位でフィニッシュ。2年前の過去最高順位（6位）には届かなかったが、全日本、箱根に向けて期待感を抱かせるレースになった。

総合成績　7位（2時間12分32秒）

中央学院大学　個人成績

区間	選手（学年 出身高校）	区間記録	区間順位	総合順位
1区（8.0km）	大森　澪（2年 関大北陽・大阪）	24'09"	13位	13位
2区（5.8km）	濱滝 大記（4年 笠田・和歌山）	15'51"	1位	9位
3区（8.5km）	塩谷 桂大（4年 那須拓陽・栃木）	24'44"	5位	8位
4区（6.2km）	海老澤 剛（3年 水城・茨城）	18'34"	9位	8位
5区（6.4km）	新井 翔理（2年 東農大二・群馬）	18'54"	5位	8位
6区（10.2km）	山本 拓巳（4年 高岡向陵・富山）	30'20"	6位	7位

第47回 全日本大学駅伝対校選手権大会

2015年11月1日（日） 8区間　106.8km

箱根に向けて収穫の多いレースに！

学生三大駅伝2戦目となる全日本大学駅伝は、出雲駅伝で快走した濱滝大記（4年）を1区に配置するなど、箱根駅伝を見越したオーダーで出場した。ところが、1週間前に発熱した影響もあり、エース濱滝が区間13位と出遅れる。苦しいスタートとなったが、2区に抜擢した樋口陸（1年）が奮闘。9位まで順位を上げると、4区塩谷桂大（4年）が区間3位の好走でシード圏内（6位）に突入した。6～8区は1・2年生が担い、アンカーの大森澪（2年）が最長区間を区間5位で走るなど、箱根に向けて収穫の多いレースになった。5区で順位を落としたこともあり、9位に終わったが、総合タイムは第40回大会（08年／5位）にマークしたチーム最高記録を1分30秒以上も更新した。

総合成績　9位（5時間19分22秒）

中央学院大学　個人成績

区間	選手（学年 出身高校）	区間記録	区間順位	総合順位
1区（14.6km）	濱滝 大記（4年 笠田・和歌山）	43'43"	13位	12位
2区（13.2km）	樋口　陸（1年 武蔵越生・埼玉）	39'03"	9位	9位
3区（9.5km）	海老澤 剛（3年 水城・茨城）	27'42"	7位	9位
4区（14.0km）	塩谷 桂大（4年 那須拓陽・栃木）	40'54"	3位	6位
5区（11.6km）	村上 優輝（3年 西脇工業・兵庫）	35'16"	12位	8位
6区（12.3km）	新井 翔理（2年 東農大二・群馬）	36'36"	8位	8位
7区（11.9km）	森田 智哉（1年 東播磨・兵庫）	36'28"	10位	8位
8区（19.7km）	大森　澪（2年 関大北陽・大阪）	59'40"	5位	9位

思い通りにいかないのが箱根駅伝 来年は過去最高順位を目指します！

駅伝部監督　川崎 勇二（かわさき ゆうじ）

ハラハラドキドキの2日間でした。思い通りにいかないのが箱根駅伝です。1区濱滝で上位につけて、2区大森で10番近くまで落ちたのを3区塩谷で4～5番まで上げる。1～3区は考えていた戦略がほぼハマりました。しかし、4区新井は初めての箱根でしたので正直不安でした。緊張しているのかなと思ったら、不安は的中するものです。後ろから怒涛のごとく追い上げられました。5区山本も途中から意識がない状態が続き、「ゴールできるのかな」とヒヤヒヤしながら見ていました。

昨年よりも今年の方が「強い」という確信を持っていたので、復路の選手には「昨年の8位を超えよう」という話をしました。でも思い通りにはいきませんでした。前評判が9位前後だったので、その通りになってしまいました。それでも4年生を中心に、競技面では主将の濱滝、サポート面では主務の鎌田。この2人がよくチームを引っ張ってくれました。大きな柱は抜けますが、競技力は上がってきています。来年は総合力で過去最高順位を目指してがんばりたいと思います。

出場選手のコメント

1区　濱滝 大記（つえたき ひろのり）（主将）（法学部4年/笠田/和歌山）

後続との差を広げてほしい、という指示だったので序盤からハイペースで引っ張りました。思った以上に多くのチームが付いてきたので、最低限という走りになってしまいました。

6区　樋口 陸（ひぐち りく）（法学部1年/武蔵越生/埼玉）

下りには自信があったので、入学前から6区を希望していました。区間記録を狙っていましたが、最後の3kmがちょっと伸びませんでした。次回は区間新記録を出したいです！

2区　大森 澪（おおもり れい）（法学部2年/関大北陽/大阪）

人をうまく使えと言われましたが、10kmの通過が予定より30～40秒遅く、前半スローペースになってしまいました。強い4年生が抜けるので、自分がその穴を埋めたいです。

7区　海老澤 太（えびさわ ふとし）（法学部3年/水城/茨城）

6区の樋口が良い位置で来てくれると信じていたので、その流れに乗って走り、細谷に渡せればと考えていました。自分の持っている力を全部出せたレースができたと思います。

3区　塩谷 桂大（しおや けいた）（新）（法学部4年/那須拓陽/栃木）

設定タイムより2分ほど悪いですし、区間賞を目標にしていたので、悔しいです。自分を含めて、4年生がもっとしっかり走っていれば5位以内が狙えたのかなと反省しています。

8区　細谷 恭平（ほそや きょうへい）（法学部2年/水城/茨城）

やっと終わったかという気持ちです。序盤は緊張でガチガチでしたが、途中からリズムに乗せることができました。来年度は主要区間を走って、少しでもチームに貢献したいと思います。

4区　新井 翔理（あらい しょうり）（法学部2年/東農大二/群馬）

区間5～6位を狙っていましたが、区間13位という結果で悔しい気持ちでいっぱいです。来年は区間5位以内で走り、関東インカレでも上位入賞できるようにがんばっていきたいです。

9区　海老澤 剛（えびさわ つよし）（法学部3年/水城/茨城）

ラスト3kmくらいで早稲田大学に抜かれてから一気に苦しくなって、最後の1kmは記憶がありません。区間5位以内を目標にしていたので、納得のいく走りができませんでした。

5区　山本 拓巳（やまもと たくみ）（法学部4年/高岡向陵/富山）

チームに迷惑をかけてしまって、4年生として情けないです。復路の選手たちががんばってくれてうれしく思いました。後輩たちは強いので、来年は確実に目標が達成できると信じています。

10区　小川 貴弘（おがわ たかひろ）（法学部4年/市立船橋/千葉）

最後のチャンスに箱根駅伝を走れたのはうれしかったですけど、最上級生という立場にも関わらず、下級生に助けられるかたちになりました。本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

CGU 中央学院大学 箱根駅伝特集ページ
駅伝部の箱根情報をお知らせします。 CGU箱根 検索

公式Facebookページ
最新情報はこちらをご覧ください。ご覧の際は「いいね」をお願いします。

CGU箱根駅伝応援Twitter
大会の情報など発信しています。 @cguhakone

中央学院大学 | 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 TEL 04-7183-6501（代） | http://www.cgu.ac.jp/

2015 - 2016　Result Report

学生三大駅伝 結果報告

第27回 出雲駅伝・第47回 全日本大学駅伝・第92回 箱根駅伝

中央学院大学

第92回 東京箱根間往復大学駅伝競走

2016年1月2日(土)・3日(日)、10区間：217.1km（往路：107.5km、復路：109.6km）

危機を乗り越え「連続シード」復路の下級生が好走する

青山学院大学の連覇で幕を閉じた第92回箱根駅伝。前回８位でシード権を獲得した中央学院大学は、アクシデントもあり往路を14位で折り返すが、復路で巻き返す。最終的には９位で大手町のゴールに飛び込み、２年連続７回目のシード権を獲得した。

往路：14位（5時間38分19秒）
復路：７位（5時間35分12秒）
総合9位（11時間13分31秒）

エース瀬滝が高速レースを演出

14年連続17回目の出場となった中央学院大学は、ターゲットの「５位以内」を目指して、１区から“勝負”に出た。スターターは４年連続で瀬滝大記（４年）が担当した。前回は区間５位と好走し、往路５位の流れをつくっており、今季はトラックシーズンでも大活躍。持ち味のスピードと積極果敢な走りを生かすべく、川崎勇二監督は、エースに大胆な指令を伝えていた。

「スローペースになりそうだったので、自分から仕掛けていきました」と瀬滝はスタートからぶっ飛ばす。５kmを14分13秒、10kmを28分38秒というハイペースに持ち込んだ。瀬滝の“攻めの走り”は、「３強」といわれた青山学院大学、東洋大学、駒澤大学の優勝争いにも大きく影響した。駒澤大学は11km過ぎにトップ集団から脱落し、東洋大学も青山学院大学に想定以上の大差をつけられることになる。

高速レースの起点となった瀬滝だが、17km過ぎに青山学院大学 ・ 久保田和真（４年）が抜け出すと、苦しくなる。区間賞争いに敗れて、６位でタスキをつないだ。瀬滝は「最低限の走りでした」と納得していなかったが、「瀬滝の順位は仕方ありません。ハイペースをつくって、他のチームをふるい落とすのは彼しかできないですから」と川崎監督はエースの走りを評価した。区間タイムは１時間２分12秒で、瀬滝は前回自らが打ち立てた１区の大学記録を15秒上回った。

“花の２区”に抜擢された大森澪（２年）は、箱根駅伝初出場ながら粘りの走りを見せる。順位は落としたものの、各校のエースが集う中、区間10位と奮闘。３区のスペシャリストに９位で中継した。

３区塩谷桂大（４年）は瀬滝と同じく４年連続で同じ区間の出走だった。前半から積極的に飛ばしていき、３年連続の区間４位。目標タイムに届かなかったこともあり、塩谷自身は、「もっと自分ががんばれば、後続の選手を楽に走らせることができた」と不満を口にした。それでも、塩谷の４人抜きで、チームは５位に浮上。川崎監督の狙い通りにレースが進んだ。

続く４区は、川崎監督が「不安だった」という新井翔理（２年）。区間13位と、出雲・全日本で見せた実力を発揮することができなかったものの、順位を落とすことなく５区の山本拓巳（４年）にタスキを託した。

5区で“途中棄権”の大ピンチ

４区終了時まではほぼ予定通りのレースを展開してきた中央学院大学だが、山上りの５区で想定外の事態が待ち構えていた。

前回８区を区間８位で走っている山本は、途中まで快調で、「１時間21分30秒」という目標を上回るペースで突っ込んだ。ところが徐々に動きが鈍くなり、大平台（9.4km）あたりから明らかに様子がおかしくなった。

「山本！ わかるか!」という川崎監督の声にも反応がない。「途中棄権も覚悟した」ほどの足どりだった。それでも山本は最上級生としての意地を見せる。意識が朦朧としするなか、芦ノ湖まで無事にタスキを運んだ。最悪の事態は回避したものの、山で順位を大きく落とし、往路のゴールは14位。「目標の５番は厳しい。だけど７番はいける」と川崎監督は、新たな目標を復路の選手たちに伝えた。

6区のルーキー樋口が快走

復路は総勢13チームが一斉スタートとなった。そのなかで、６区の樋口陸（１年）が期待通りの快走を見せる。「下りには自信があった」という強気のルーキーは、区間新記録をマークした日本体育大学・秋山清仁（３年）には離されたものの、先にスタートした大学を次々ととらえていく。一斉スタートの影響で、総合順位は分かりにくかったが、小田原中継所にタスキを運んだときには、総合10位まで順位を押し上げていた。タイムも58分47秒（区間３位）と素晴らしかった。

ルーキーの快走で勢いに乗った中央学院大学は、ますますその流れを加速させる。２年連続で７区を任された海老澤太（３年）が、区間７位の好走で順位をひとつ上げる。前回の区間11位から、１年間の成長を箱根路に記した。

チームのシード権獲得を決定づけたのが、８区の細谷恭平（２年）だ。「入りがものすごく遅くて心配した」という指揮官の不安を吹き飛ばし、区間３位タイと大健闘。学生駅伝のデビュー戦で順位を３つも押し上げた。

８区を終えて、総合６位。快調にレースを進めてきたが、残り２区間で波乱の展開が待ち構えていた。９区は当日区間変更で入った海老澤剛（３年）。前回は２区を任され、「つなぎの２区」の役割を果たしたチームの主力選手だ。今回は序盤から積極的に飛ばしていくが、気温が高かったこともあり、ラスト３kmくらいから苦しい表情に変わった。最後の１kmは意識がないようなフラフラな走りになり、川崎監督の「剛、タスキ！ タスキ外せ！」という声も届かない。それでも区間６位でまとめて、総合６位を死守した。

９区終了時で11位の日本大学との差は４分56秒。シード権獲得は確実だったが、最終区間にもピンチがあった。10区に起用された小川貴弘（４年）は、毎回11～12番目のエントリーで「万年補欠」という不名誉なあだ名がつけられていた選手。ラストチャンスの出走で、緊張が高まったせいかスタートからいつもの走りと違っていた。

後続のチームとはかなりの差があったものの、みるみる詰め寄られ、気がつけば総合９位に転落。「想定外」（川崎監督）の走りになった。最後までヒヤヒヤの継走になったが、９区までの貯金が大きく、小川は総合９位（11時間13分31秒）でフィニッシュ。２年連続のシード権獲得に成功した。

「前評判が９番前後だったので、その通りになってしまいました。６～９区は区間ひとケタだったので“たられば”ですけど、ベストメンバーが組めていれば６位は行けたと思います」と川崎監督はレースを振り返る。９区予定の村上優輝（３年）の脚に不安があり、元日に外す決断をして、大幅に区間配置が入れ替わった。その結果、リザーブだった選手のところで苦しい走りになり、順位を落としてしまったのだ。

それでも、総合９位でゴールを迎えたことは、「チーム力」の高さを証明するものだろう。目標の５位には届かなかったものの、ミスを補いながら全員でつかんだ価値あるシード権だった。これで中央学院大学は通算７回目のシード権を獲得。15年連続18回目の出場を決めて、来年も“フラッシュイエロー”のユニフォームが箱根路に登場することになる。

3年連続シード権獲得へ

４年間の箱根駅伝を振り返ると、10位、12位、８位、９位と推移して、３度のシード権を獲得している。近年は順位が安定してきているが、４年生の存在が大きかった。特に瀬滝と塩谷は４年連続で箱根駅伝の主要区間を担い、好走を続けてきた。強力な世代が卒業して、チームは“新たな時代”を迎えることになる。

主将としてチームを引っ張ってきた瀬滝は、「チーム目標が５位だったんですけど、一人ひとりが力を出せれば５位以内に入れたと思うので、悔しい気持ちはあります。でも、力をつけた後輩たちが残りますし、来年以降も期待していきたいです」と後輩たちにエールを送った。川崎監督も「今回は大森、細谷、樋口と１～２年がしっかり走ってくれました。来季につながるレースができたと思います」と手ごたえを感じている。

青山学院大学の強さが目立った第92回箱根駅伝。中央学院大学にとっては２日間ともハラハラドキドキの展開で、満足のいく結果ではなかったかもしれない。しかしアクシデントが相次ぐなかでも、あきらめずに前を追いかけて、シード権を獲得したことは大きな収穫だ。

そして、来年は大学史上初となる「３年連続シード権」に挑むことになる。黄金世代が卒業するが、今回好走した１～３年生と、出走できなかった他のメンバーが、その穴を埋めることができれば、おのずと“結果”はついてくるだろう。「箱根常連校」から、「シード権常連校」に進化を遂げた中央学院大学。今回達成できなかった「５位以内」という野望は、次世代へ受け継がれることになる。

第92回大会　総合成績

総合順位	大学名	総合記録	総合順位	大学名	総合記録
1位	青山学院大学	10時間53分25秒	11位	日本大学	11時間16分50秒
2位	東洋大学	11時間00分36秒	12位	城西大学	11時間20分06秒
3位	駒澤大学	11時間04分00秒	13位	神奈川大学	11時間20分07秒
4位	早稲田大学	11時間07分54秒	14位	明治大学	11時間20分39秒
5位	東海大学	11時間09分44秒	15位	中央大学	11時間21分48秒
6位	順天堂大学	11時間11分24秒	16位	拓殖大学	11時間23分54秒
7位	日本体育大学	11時間11分32秒	17位	東京国際大学	11時間24分00秒
8位	山梨学院大学	11時間11分51秒	18位	大東文化大学	11時間28分45秒
9位	中央学院大学	11時間13分31秒	19位	法政大学	11時間31分12秒
10位	帝京大学	11時間15分21秒	20位	上武大学	11時間36分46秒
			オープン参加	関東学生連合	11時間15分30秒

中央学院大学　個人成績

区間	選手名	記録(区間順位)	総合順位
1区 (21.3 km)	瀬滝 大記 法学部4年	1時間02分12秒（6位）	6位
2区 (23.1 km)	大森　澪 法学部2年	1時間09分23秒（10位）	9位
3区 (21.4 km)	塩谷 桂大 法学部4年	1時間03分57秒（4位）	5位
4区 (18.5 km)	新井 翔理 法学部2年	57分16秒（13位）	5位
5区 (23.2 km)	山本 拓巳 法学部4年	1時間25分31秒（18位）	14位
6区 (20.8 km)	樋口　陸 法学部1年	58分47秒（3位）	10位
7区 (21.3 km)	海老澤 太 法学部3年	1時間05分13秒（7位）	9位
8区 (21.4 km)	細谷 恭平 法学部2年	1時間05分29秒（3位）	6位
9区 (23.1 km)	海老澤 剛 法学部3年	1時間11分19秒（6位）	6位
10区 (23.0 km)	小川 貴弘 法学部4年	1時間14分24秒（16位）	9位